

今治タオルプロジェクト (四国タオル工業組合)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:愛媛県今治市東門町5-14-3
- 代表者:代表理事 平尾 浩一郎
- 出資金:1億3,302万円
- 売上高:2億100万円(平成23年度)
- 従業員数:6人(員外理事1人を含む)
- URL: <http://www.stia.jp/>

①事業概要

<タオル製品製造>

バブル崩壊後の1990年代以降、中国をはじめとした安価な海外製品の流入により、今治地域のタオル生産高、製造業者は減少の一途をたどっていた。

この衰退を食い止めるため、国内最大級のタオル産地として、地域で受け継がれてきた技術を活かしながら、国内はもとより海外市場における販路開拓を目指し、平成18年に著名なアートディレクターである佐藤可士和氏を起用して今治タオルプロジェクトを開始。今治タオルの知名度向上のためのメディアへのプロモーション活動とひとつ上の高級感や品質へのこだわりなど、付加価値を求める本物志向の顧客をターゲットとして、高品質のタオル製品を提供している。

②海外展開概要

<欧州への販路開拓>

海外の展示会に積極的に出展し、今治タオルのブランド力の向上と海外市場の販路開拓のための顧客の拡大に取り組んでいる。

- ・ヘルシンキ国際家具・インテリア見本市「ハビタール09」(平成21年8月)並びにイタリア・ミラノ・マチェフ展(平成23年1月及び平成24年1月)では、今治タオルのやわらかな風合いとナチュラルな品質に対しての高い評価を得た。
- ・上海国際ギフト展(平成24年8月)では、巨大マーケットに成長している中国をターゲットとした販路開拓に初めての取り組みを開始。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

平成18年から、中小企業庁のJAPANブランド育成支援事業を活用し、「今治タオル」のブランド化を推進した。

- ・佐藤氏デザインによるブランドマーク・ロゴを開発し、四国タオル工業組合が定めた品質基準をクリアしたものに、ブランドマーク・ロゴを付与する仕組みを作った。
- ・上記の取り組みを通して、今治タオルの高品質タオル製品としてのイメージが消費者に定着してきた。
- ・今治タオルの価値を認めてもらうために、最終消費者とのコミュニケーションを重視した。

④今後の事業展開について

今治タオルの認知度は、今年度調査によると71%に向上しており、初期の目標を遥かに超える成果を得たが、今後は、今治タオルのブランド価値を維持拡大するための品質基準の見直しを含めたマニュアルの改訂を行うとともに、メーカー個社を前に出していきメーカーブランドの育成を図る。平成24年6月にオープンした今治タオル南青山店をブランドショップとして活用し、更なるプロモーション活動を実施していく。

また、引き続き海外展示会への出展を行い、販路の拡大を図る。



(平成24年10月現在)

データ出所: 四国経済産業局